

別添

○厚生労働省告示第三号

薬事法（昭和三十五年法律第四百十五号）第十四条の六第一項（同法第十九条の四において準用する場合を含む。）の規定に基づき、再評価を受けるべき医薬品の範囲を指定したので、同項及び同法第十四条の六第三項（これらの規定を同法第十九条の四において準用する場合を含む。）の規定に基づき、当該医薬品の範囲並びに再評価を受けるべき者が提出すべき資料及びその提出期限を次のように告示する。

平成十九年一月四日

厚生労働大臣 柳澤 伯夫

一 医薬品の範囲

薬事法施行規則（昭和三十六年厚生省令第一号）第四十二条第一項第二号に規定する医療用医薬品のうち、別表に掲げるもの

二 再評価を受けるべき者が提出すべき資料

再評価に係る医薬品の有効成分の種類、投与経路、剤型等に応じ、薬事法施行規則第四十条第一項第一号に掲げる資料。ただし、当該再評価に係る事項が医学薬学上公知であると認められる場

合その他資料の提出を必要としない合理的理由がある場合においては、その資料を提出することを要しない。

三 提出期限

平成十九年一月三十一日

別表

- 一 次に掲げる成分を有効成分として含有する単味剤のうち、内用固形製剤のもの
- 1 アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物（腸溶性錠剤に限る。）
 - 2 ロメリジン塩酸塩
 - 3 プロメタジンメチレンジサリチル酸塩
 - 4 レボチロキシシンナトリウム水和物（錠剤を除く。）
 - 5 ペントキシベリンクエン酸塩（錠剤に限る。）
 - 6 ジメモルフアンリン酸塩（ドライシロップ剤を除く。）
 - 7 ピリドスチグミン臭化物
 - 8 パパベリン塩酸塩
 - 9 ホルモテロール fumarate 水和物
 - 10 タランピシリン塩酸塩

11 ベプリジル塩酸塩水和物

12 ニカルジピン塩酸塩（徐放性錠剤及び徐放性カプセル剤に限る。）

二 次に掲げる成分を有効成分として含有する配合剤のうち、内用固形製剤のもの
アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム